
介護福祉事業部



愛生訪問看護ステーション

管理者 水谷 千奈美

➤ 特徴

当事業所が活動している名古屋市北区は高齢化率が28.9%で市内16区において第2位と高く、生活保護受給率も常に上位にあるエリアです。私達は独居高齢者や高齢夫婦世帯、生活保護受給世帯でも住み慣れた自宅で最期まで過ごしたいという利用者さまの意思を大切にしたいという思いから、「あなたが生きる場所（自宅）で、あなたらしく生きられるように私たちが支えます。」をキャッチコピーにサービスを提供しています。

➤ 今後の目標

地域包括ケアシステム内において医療と介護に関わる私たち訪問看護が、医療機関と在宅部門の橋渡し役を担い、多職種との連携・協働によりスムーズに在宅移行できるよう支援していきます。

また、高齢化地域であるこの北区で訪問看護の啓蒙活動を強化し、私達の看護を一人でも多くの方へ提供できるよう地域貢献活動にも積極的に参加していきます。

あいせいケアステーション

管理者 船場 良介

➤ 特徴

利用者さまが住み慣れた自宅で安心して生活できるよう、家事援助から身体介護まで幅広くサービスを提供しています。喀痰吸引や経管栄養の処置も可能であるほか、通院介助や共有部分の掃除など介護保険外のサービスも実施しています。より幅広い介護ニーズに対応することで、利用者さまの自立した在宅生活を支援していけるよう日々職員のスキルアップに努めています。

➤ 今後の目標

高品質な介護サービスの提供を通じて、地域の高齢者や障がい者の方々の生活の質を向上させることを目指します。スタッフの継続的な教育を推進し、スキル向上とサービスの効率化を図ります。また、法人内および地域社会との連携を強化し、より包括的な支援体制を構築します。利用者さまが安心して在宅生活を続けられるよう、質の高いサービス提供と満足度の向上に努めてまいります。

愛生居宅介護支援事業所

管理者 今枝 敬典

➤ 特徴

愛生居宅介護支援事業所は介護支援専門員7名、うち主任介護支援専門員4名の体制で運営しています。要支援者から中重度まで幅広く対応し、24時間の相談連絡体制を敷いています。看護師、社会福祉士、介護福祉士の基礎資格をもつケアマネジャーが在籍し、経験の長いケアマネジャーが多数在籍しています。多機関と連携し、医療ニーズの高い利用者や複合的な生活課題をもつ利用者にも対応できるよう安心安全の相談体制に努めています。

➤ 今後の目標

早期介入、早期支援をモットーに在宅医療介護の多職種連携の要として質の高いケアマネジメントを提供し、信頼され愛される事業所として地域福祉に貢献したいと考えます。

愛生訪問看護ステーション平安通

管理者 石原 友美

➤ 特徴

地域に根付き、利用者さんやその家族に信頼され、安心して利用し続けていただける訪問看護ステーションを目指しています。併設する「愛生複合型サービスセンター平安通」や「住宅型有料老人ホームこもれびの家」の利用者の訪問をしながら、ターミナルケア、認知症、精神疾患や糖尿病看護の支援を看護師が行っています。また、経験豊富な理学療法士がリハビリ支援も行っており、日常生活の自立サポートを実施しています。

➤ 今後の目標

- 1) 訪問ニーズに併せながら受け入れを断らず月平均登録者数100名を目指します。
- 2) 1時間訪問を中心に利用者やそのご家族と向き合った看護を提供します。
- 3) 外部向けの研修会を定期開催し、地域に開けたステーションを目指します。

愛生複合型サービスセンター平安通

管理者 縄田 文子

➤ 特徴

看護小規模多機能型居宅介護である当事業所は、ご自宅からの「通い」を中心として、利用者さんの希望に応じて「訪問」や「泊まり」を組み合わせた介護サービスに、「訪問看護」が加わった看護と介護を一体的に提供する介護保険サービスになります。今年度は、宿泊時でも夜間喀痰吸引が必要な利用者の受け入れ体制が整いました。柔軟なサービス調整をしながら在宅での生活を支援します。

➤ 今後の目標

- 1) 胃ろうや喀痰吸引等の医療依存度の高い利用者を積極的に受入れ看護体制強化加算Ⅰの取得を目指します。
- 2) 外部向けの講習会を定期開催し、地域に開けた事業所を目指します。
- 3) 利用者の家族会を開催し家族交流を図ります。

こもれびの家平安通

管理者 桑村 信子

➤ 特徴

住宅型有料老人ホームとは24時間職員が常駐しており、食事の提供や見守りといった日常生活に必要なサービスを受けることができる施設です。手すりやスロープの設置など高齢者が安心して生活できる環境が整えられており、居室にはテレビ、冷蔵庫、ベッド、タンスが備え付けられており、スムーズな入居が可能となっております。また、必要に応じてヘルパーや訪問看護などの介護保険サービスを受けられます。さらに喀痰吸引や胃ろう造設等の医療依存度の高い方を受け入れられるよう介護士の育成にも尽力し、入居者の受け入れ幅拡大に努めています。

➤ 今後の目標

- 1) 喀痰吸引や胃ろう造設等の医療依存度の高い利用者が入居できる体制を整えます。
- 2) レクリエーションや季節のイベントを充実し、入居者が楽しく快適に過ごされるよう環境作りに努めます。
- 3) 入居者が施設でどのように過ごされているかわるよう「こもれび通信」の発行を継続し、家族サービスに努めます。

愛生複合型サービスセンター辻本通

管理者 瀧瀬 悠

➤ 特徴

看護小規模多機能型居宅介護である当事業所は、ご自宅からの「通い」を中心として、利用者さんの希望に応じて「訪問」や「泊まり」を組み合わせた介護サービスに、「訪問看護」が加わった看護と介護を一体的に提供する介護保険サービスになります。喀痰吸引・胃ろうケア、24時間点滴など医療依存度の高い方の利用が半数以上占めています。愛生複合型サービスセンター平安通と連携しながら宿泊サービスの調整も可能です。

➤ 今後の目標

- 1) 医療依存度の高い方の受け入れ、看護体制強化加算Ⅰの取得を継続します。
- 2) 外部向けの講習会を定期開催し、地域に開けた事業所を目指します。
- 3) 利用者の家族会を開催し家族交流を図ります。

総合上飯田第一病院

上飯田
リハビリテーション病院

上飯田クリニック

介護福祉事業部

愛生会看護専門学校

各種活動

論文・抄録